

台風19号による豪雨災害が発生

10月12日、大型で猛烈な台風19号が非常に強い勢力を保ったまま上陸し、記録的な暴風雨をもたらしました。

県内にも初めての大雨特別警報が発表され、各地で河川の氾濫等による家屋の全半壊、床上・床下浸水、土砂崩れなどの被害が広まりました。

村内でも24時間の降雨量309mmという観測史上最大の雨量を記録し、河川の増水や法面崩落、道路陥没など甚大な被害を受けました。



村内の被害の一部

災害対策本部を設置



本村では台風上陸に備え、災害対策本部を立ち上げ、情報収集や被害状況の確認、対応を行いました。中央公民館を避難所として開設し、避難者は48世帯151人となりました。村民の防災意識が高まっていることで迅速な対応ができ、村内では人的被害はありませんでした。

高校生の通学を支援

被災直後は特に、公共交通機関にも多大な影響が出ていたことから、一部の高校生が通学困難となっていました。

本村では、郡山市の高校に通学する生徒の代替えバスを手配、公共交通機関の運転再開まで運行し、通学手段を確保しました。



令和2年度の完成に向けて

平田村認定こども園(仮称)の整備が始まります

平田村認定こども園(仮称)の設計が終了し、建物の建築概要がまとまりましたのでお知らせします。



【建物の主な特徴】

- 建物は緩やかなS字型の形状をしています。建物の中央に職員室を配置し視認性をよくすることで、子どもたちの安全性に配慮します。
- 玄関脇には絵本棚があり、子どもたちのふれあいの場や保護者たちの交流の場として活用できるよう計画しています。
また、玄関付近に子育て支援室を配置し、園庭で外遊びができるほか、利用者が気軽に訪れることができるよう配慮します。
- 子どもたちが過ごす保育室は建物南側(園庭側)に面した日当たりのよい環境に配置します。室内は木材を多く使用し、木のぬくもりを感じられる施設にします。

定 員：210人

延べ床面積：2,240㎡

構 造 規 模：木造・平屋建て